



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



おおきに健康

歯とお口から

大阪大学歯学部附属病院 広報誌

Vol.36
2023年秋号

News
Letter



病院長 林 美加子

例年以上に暑い夏が終わり、ようやく涼しい季節を迎えました。皆様におかれましては、お変わりございませんか。大阪大学歯学部附属病院は、3年以上におよぶコロナ災禍にも負けず、口の健康をあずかる地域の中核病院として、元気に活動を展開しています。

さて、食欲の秋を迎え、生涯美味しく食べることは、皆の共通の願いであることを思い起こします。先人は、「口は体の健康を映す鏡である」と表現してきました。確かに、感染症などに代表される病気の兆候がいち早く口に現れる多くの事例があります。また、歯周病と糖尿病との関係や、残存歯数と認知症との関連など、重要な情報が次々と明らかになってきており、口の健康への関心は益々高くなってきました。

大切なことは、口の二大疾患である「むし歯」と「歯周病」は、基本的に予防できる病気であるとの認識です。そして、効果的な予防のためには、ご自身の現在の口の状態を正しく把握し、病気へのかかりやすさとその理由を知ることが重要です。その情報をもとに、歯科チームと共に、一人ひとりにあった予防プログラムを実践していただきたいと思えます。

人生100年時代を豊かに楽しく過ごすために、ご自分の口の健康を守り育てて参りましょう。

内面

- 特集 1.
『地域医療連携室』予約受付機能(医療機関間)について
- 特集 2.
第20回市民フォーラム
「どうなる、近未来の歯科医療」の開催について

お口の相談コーナー
お口のマメ知識

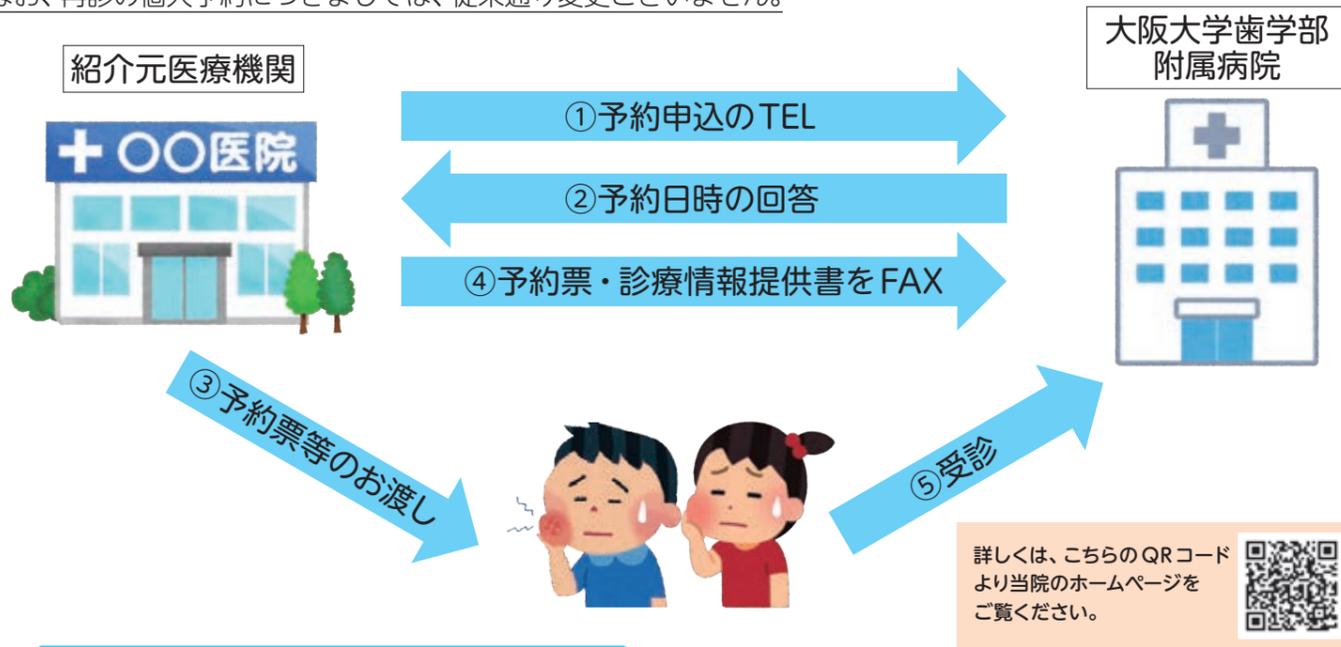
裏面

- 2023年7～9月の統計情報
- 病院概要

大阪大学歯学部
歯学部附属病院

特集1 『地域医療連携室』予約受付機能(医療機関間)の充実!!

令和5年12月1日より、地域医療機関との連携強化と患者さんの待ち時間解消のため、地域医療連携室では、他医療機関からの予約受付機能の充実を図り、医療機関からの初診予約に限り予約申込をお受けいたします。予約受付は、お電話及びFAXにてお取り扱いさせて頂く予定です。なお、再診の個人予約につきましては、従来通り変更ございません。



医療機関からの予約に関するQ & A

- Q1. 予約していなくても診療を受けることはできますか?
A1. 予約をしなくても診療は可能です。但し、予約された患者さんを優先させていただきますので、お待ちいただくことや、当日診療をお受けできない場合がございます。
- Q2. 個人での予約は可能ですか?
A2. 個人での予約は受け付けておりません。医療機関から予約のみお受けいたします。
- Q3. 予約をすると待ち時間無く診療を受けることができますか?
A3. 当日の混み具合により、待ち時間が発生する場合がございます。
- Q4. 医療機関からの予約をキャンセルする場合はどの様にすれば良いですか?
A4. 予約日前日までに地域医療連携室(06-6879-2122)までお電話をお願いします。

特集2 第20回市民フォーラム「どうなる、近未来の歯科医療」開催

開催日時: 2023年11月18日(土) 13:00 ~ 16:00
場所: 千里ライフサイエンスセンター 5階サイエンスホール

「近未来の歯科「再生」医療」

竹立 匡秀 大阪大学歯学部附属病院 口腔治療・歯周科 講師
病気が怪我などの理由によって失われたからだの一部を、もと通りにすることは容易なことではありません。近年、幹細胞(様々な細胞へと変化することができる細胞)をからだの中から取り出し、増やして、様々な方法でからだに戻すことで、組織を再生させる治療法が開発されています。私の講演では、おなかの脂肪組織に存在する幹細胞を用いて、歯周病で失われた歯ぐきや歯を支える骨を再生させるという近未来型の歯科医療についてお話したいと思います。

「デジタル化、AI時代の歯科医療で知っておくべきこと!!」

野崎 一徳 大阪大学歯学部附属病院 医療情報室 准教授
デジタル技術の進歩は歯科に新しい可能性をもたらしています。AIとセンサーを使って、歯科治療中の安全性や治療成績を向上させるためのプロジェクトが進行中です。また、口の状態の未来予想に関する研究も進めています。しかし、これらの新しい技術を使う時は、個人情報を守ることや、技術の信頼性を確保することも大切です。今回は、歯や口の状態に関する技術と、患者様の情報をどう管理するかについてお話します。

「歯科インプラント治療の現在地 —歯科医師は何をインプラントに期待しているのか—」

和田 誠大 大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座 准教授
歯科インプラント治療と聞くと、どのような事を想像されますか? 治療費用や治療期間、手術といったマイナスイメージが多いかもしれません。歯を失うと食べ物を噛みづらくなります。改善するためには補綴(ほてつ)治療が必要となり、歯科インプラント治療はこの補綴治療に含まれます。よく噛めること(良好な咀嚼機能)は全身の健康と大きく関わっています。実は我々歯科医師が歯科インプラント治療に期待することの一つに、優れた咀嚼機能回復があります。今回は、歯科インプラント治療と咀嚼の関係に焦点を当て、その先にある全身の健康についてお話したいと思います。

「歯科医院が変わる。デジタル化で変わる」

山羽 徹 大阪大学歯学部同窓会
わたしたちの日常生活を取り巻く環境はどんどんデジタル化されています。それは歯科医療においても例外ではなく、「デジタル化」がトップキーワードになっています。歯科医療のデジタル化は、患者の皆様にとって受診が便利になること、治療がより早く、より確実になることに加えて、治療が「見える」ようになることが挙げられます。私の講演ではこの「見える」化がみなさまにどのようなメリットをもたらすのかについてお話しようと思います。

「デジタル技術がサポートする新時代の口腔外科手術」

磯村 恵美子 大阪大学大学院歯学研究科 顎顔面口腔外科講座 准教授
よい手術は「神の手」を持つ一握りのDr.にしかできないものではないでしょうか。否、よい手術は一定レベル以上のDr.であれば誰にでもできるものでなければなりません。そのために手術は時代ごとに進化を遂げてきました。現在、一部の手術にデジタル技術が取り入れられるようになり、事前にシミュレーションし、それを再現するためのガイドを用意すれば、手術を正確かつ短時間で行うことが可能です。今回は、デジタル技術を活用した口腔外科手術の一端を紹介します。

申し込み方法

Web、はがき、FAXで受け付けています。
●ウェブサイトで申し込みの方はこちらからどうぞ。
<https://www.dent.osaka-u.ac.jp/features/forum>
●はがき・FAXで申し込みする場合は、以下を明記の上ご送付ください。
①氏名②住所③年齢④連絡先(電話・FAX・e-mailのいずれか)
大阪大学歯学研究科総務課庶務係「第20回市民フォーラム事務局」
〒565-0871 吹田市山田丘1-8
FAX 06-6879-2832

申込締切日: 11月7日(火)

「お子さんに対するフッ化物配合歯磨き粉の利用について」



お口の相談コーナー

「子どもの歯磨きを行う時に、歯磨き粉は使った方がいいのでしょうか?」という質問をよくいただきます。歯磨きを行う最大の目的は、歯の表面の汚れ(デンタルプラーク)を取り除くことです。歯磨き粉は、お子さんが嫌がる場合には使用しなくても問題はありません。しかし、配合されているフッ素には、歯の表面を強くすることでむし歯を予防する効果があります。そこで今回は、最近示された関連学会のガイドラインをもとに、お子さんの効果的なフッ化物配合歯磨き粉の使用法をご紹介します。
①歯磨き粉を使った歯磨きの方法・回数
乳歯が生え始めたら、ガーゼなど

でお口のケアの練習を始め、慣れてきたら歯ブラシを使って1日2回は磨きましょう。3歳以上のお子さんでは、就寝前を含めた1日2回は歯を磨きます。フッ素をお口の中に長くとどめるため、歯磨き粉は軽く吐き出し、うがいをすることは少量の水で1回のみに行いましょう。
②歯磨き粉の量(図1)
乳歯が生え始めてから2歳までは米粒程度、3歳~5歳まではグリーンピース程度、6歳以上は歯ブラシ全体を覆う量を使用しましょう。
③歯磨き粉に含まれるフッ素の濃度
歯磨き粉に配合されているフッ素の濃度は「ppm」と表現され、

小児歯科 鋸屋 侑布子

1000ppmの歯磨き粉は0.1%のフッ素が配合されていることを表しています。5歳以下のお子さんには、900~1000ppmの歯磨き粉を、6歳以上のお子さんには大人と同じ1400~1500ppmの歯磨き粉を使用することが勧められています。より詳しく知りたい方は、お気軽に担当医までご相談ください。



https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/news/2023/news_230303.pdfより改変



お口のマメ知識

接着ブリッジをご存知でしょうか?

近年の歯科医療においては、できる限り歯を削らない治療が望ましいと考えられています。そのコンセプトを基に誕生した治療法のひとつが接着ブリッジです。ブリッジとは、何らかの理由で欠損した歯の隣の歯を土台として使い、それらの歯を支えとして被せ物を装着する治療法ですが、従来のブリッジでは土台となる歯の周囲を大きく削る必要がありました。しかし、この接着ブリッジのデザインでは、全く歯を削らないあるいはほんの少し歯を削るだけで、欠損した歯を補う被せ物を作製し装着することができます。さらに、従来のブリッジでは欠損

した歯の両側の歯を土台とした装置を作製していましたが、最新の研究結果によると、前歯の欠損に対しては片側の歯の裏側(舌側)にだけ貼り付けるデザインでも、装着された接着ブリッジが長期間問題なく維持されていることが報告されました。この接着ブリッジの高い成功率には歯科用接着材料の進歩が大きく関わっています。接着ブリッジは、特に歯をできるだけ削って欲しくない方、インプラント治療などの外科的な手術が適応できない方に有用な治療法です。ただし、接着ブリッジはどんな歯にでも適用できる訳ではありません。場合によっては従来型のブリッジやイ

口腔補綴科 高岡 亮太

ンプラント治療、取り外し式の義歯がより適していることがあります。接着ブリッジが適用できるかどうかについては一度担当医とご相談ください。



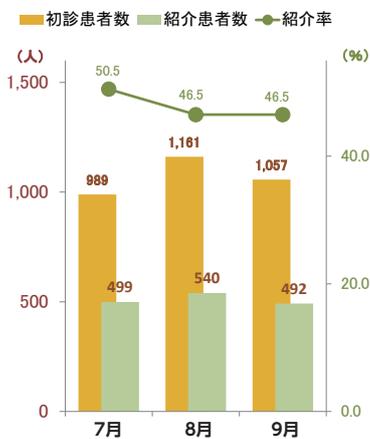
前歯の欠損に対し接着ブリッジを装着したところ(担当技士:総合技工室 常藤洋平)

7月～9月患者数等統計

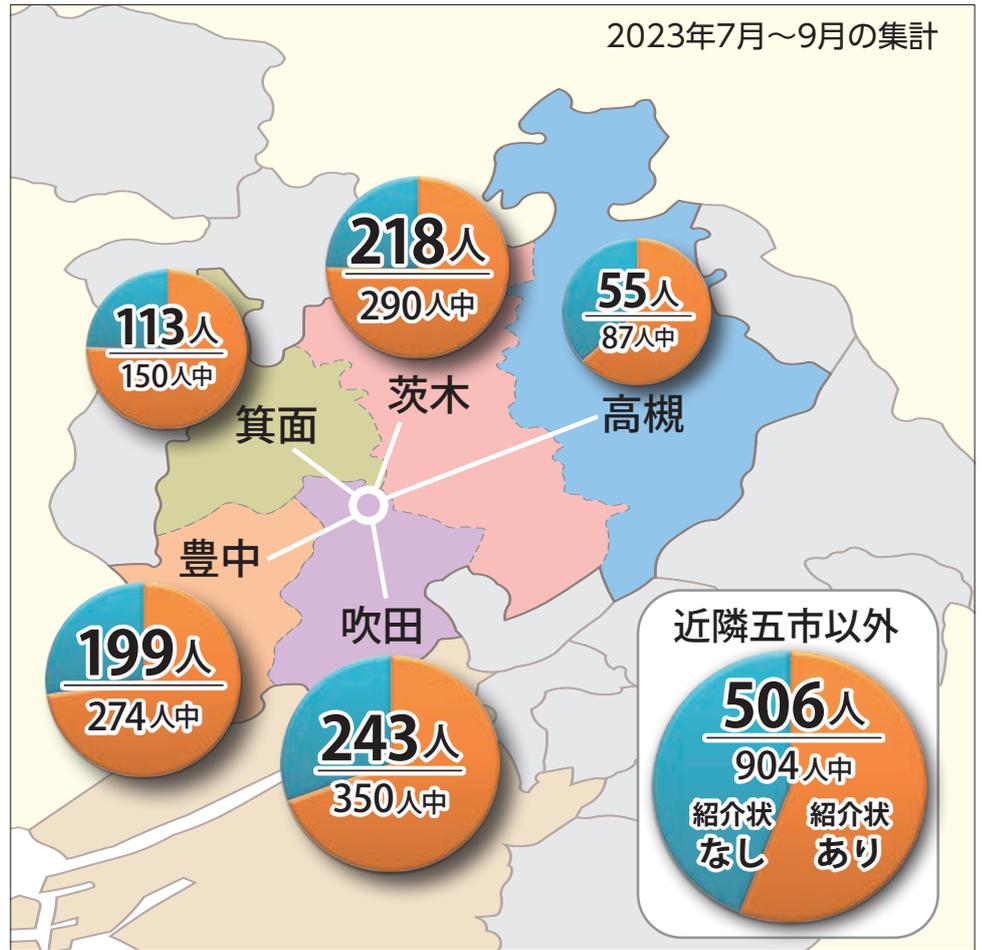
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率



近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



病院概要



電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。
夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえ、お越しください。

入院患者様へのご面会は新型コロナウイルス感染対策の観点から制限を設けています。詳しくは病院ホームページをご確認ください。

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分(初めて受診の方、紹介無し可)
【再診受付】8時30分～15時00分(原則として全科予約制)

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：(代表) 06-6879-5111 (時間外) 06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容：口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下^{えんげ}、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

病院へのアクセス



歯学部附属病院にお車でお越しの際は、西門(歯学部部門)よりお越しください。

看護師・歯科衛生士 募集中!

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで